

# シングルマザーのブログテキストマイニング分析

## —お金の話に着目して—

武内 郁江

和光大学 現代人間学部 科目等履修生

### 【はじめに】

1960年代を境に離婚後に母子世帯となるケースが年々増加しているが、そこで懸念されるのが母子世帯には低所得者が多い事である。母子世帯の平均年収は291万円だがこれは生活保護法に基づく給付、母子世帯に対する社会保障給付金、就労収入、別れた配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代などを加えた全ての収入であり、従って就労収入自体は181万円である。平成22年の全世帯平均年収は658.1万円であり、母子世帯の収入は全世帯の約4割と半分にも届いていない（武内, 2012）。

しかし、母子世帯の就労率は世界的に見て高く、厚生労働省の調査によると80.6%の母親が就労しており、働いていない母親は少数派である。加えて、母子世帯の47.4%がパート・アルバイトなどの非正規雇用であり、不安定な雇用状態で就労している。（武内, 2012）阿部（2009）は母子世帯の就労率に対して、働いても貧困状態におかれる「ワーキングプア」であると指摘している。また、阿部はこのような日本の母子世帯の高い就労率・低所得について国際的に見て、異常であると述べている。

母子世帯に対する最も大きな社会保障に「児童扶養手当」という現金給付制度がある。定められた所得制限を下回る世帯に対して支給される。しかし、1990年代からの受給者増加に伴い、この施策は財政圧迫を理由に縮小傾向とある。縮小化の原因として引用されるのが、「母子世帯は手当をもらいたいが為に、所得制限以下の収入に抑えるように働いているのではないか」という理論である（阿部, 2009）。

すでに述べたように、母子世帯は高い就労率に対して低収入であることが明らかとなっているが、こうした「福祉に依存している」という母子世帯に対する理論が存在するということは、社会的に母子世帯に対する正しい理解が得られていないと推測する。

従って、本研究では母子世帯のブログを分析対象とし、理解され難いとされる母子世帯の“お金”に関する事柄を分析していくこととする。ブログを分析対象とした理由は、インタビューのように、取材者の意図が働くものとは異なり、母子世帯のありのままの「語り」が存在し、分析が可能であると推測したことからなる。

## 【目的】

本研究では、4名のシングルマザーの日常生活をつづったブログを対象に Text Mining Studio バージョン4.2を用いて、母子世帯の「お金」ということばに関係する事柄を分析し、それに関わる特徴を明らかにしていく。また、本研究で明らかになったことにより、母子世帯が置かれる経済状況の情報発信源としたい。

## 【方法】

### 1. 分析対象

『にはんブログ村』のサイトで紹介された「シンママ」カテゴリーランキング <http://family.blogmura.com/single/> の上位50位から、抜粋した4名のシングルマザーによるブログ記事を分析対象とした。なお、抜粋する際にはブログのテキストをコピーするにあたり最も効率的なアメーバブログであることを条件とした。以下(1)～(4)は、抜粋した4名のプロフィールである。

- (1) イネ子『シングルイネ子の色々な毎日』、<http://ameblo.jp/single-umeko87/> シングルマザー歴10年、小学校6年生の子どもが1人、職業は会社員で年齢は41歳。ブログ開始日は2012年10月28日。分析に使用したブログは2012年10月18日から2013年5月5日で、件数は205件であった。取得日は2013年10月4日。
- (2) 香乃『Sweet Happy Days』<http://ameblo.jp/sweet-kano> シングルマザー歴は不明。子供は中学校1年生と小学校4年生の2人である。年齢は37歳で職業は訪問介護職。ブログ開始日は2012年8月31日。分析に使用したブログは2012年8月31日から2013年9月25日で、件数は199件であった。取得日は2013年10月3日。
- (3) かなかな『そこはかとなく生きています』<http://ameblo.jp/taiyou0520/> シングルマザー歴は不明。子どもが1人、職業は派遣社員である。ブログ開始日は2011年10月18日。分析に使用したブログ2011年10月18日から2013年10月3日で件数は261件であった。取得日は2013年10月3日。
- (4) Rainbow Pink『Believe in Myself～No Rain No Rainbow』<http://ameblo.jp/believe-in-myself78/> シングルマザー歴は不明。中学生の子どもが1人で職業は派遣社員。ブログ開始日は2013年6月8日。分析に使用したブログは2013年6月8日から2013年10月3日で件数は89件であった。取得日は2013年10月3日。

## 2. 分析手順

分析手順としては、以上4名のシングルマザーのブログを1つのテキストファイルに一元化し、Microsoft Office Excel 2007に読み込ませ、Text Mining Studioバージョン4.2用にTab(タブ)区切りデータを作成した。そして、テキスト化されたシングルマザーのブログのデータをText Mining Studioバージョン4.2にて分析した。分析を行う際には、それぞれのブログの内容量を均等にするため、KB(キロバイト)数を150から200の間になるようにブログ件数を調節した。

## 3. 倫理的配慮

本研究の研究対象はインターネット上で一般公開されたブログであり著作権に配慮した。

### 【結果と考察】

#### 1. 基本情報

表1における、総行数とは、今回の分析範囲が861記事のテキスト記事数からなっていることを表している。今回の分析結果では、基本情報として総記事数は861(記事数)であり、平均行数は222.200(記事数)、平均長文24(文字数)であった。

#### 2. 単語頻度解析

図1は、単語頻度解析によって使用した単語の使用回数の上位6位を表している。ブログで使用される言葉のうち、名詞が最も多かったため、単語頻度解析を行う際は「動詞」「形容詞」を除き、さらに出現回数を135回以上と条件とし、抽出を行い上位6位まで表されるようにした。

上位から「今日」(239回)、「今」(191回)、「自分」(190回)、「仕事」(174回)、「人」(146回)、「息子」(139回)である。「今日」という単語が最も多いのは、ブログは日記と同様な性質を持っているため、最頻出であることが考えられる。また、上位の中で「仕事」という言葉が多く使用され、ブログ本文中では「仕事帰りに」や「明日は仕事」といったように使用され母子世帯の日常生活における「仕事」の配分が多いことが明らかとなった。

表1 □基本情報

	項目	値
1	総行数	861.000
2	平均行長(文字数)	222.200
3	総文数	7958.000
4	平均文長(文字数)	24.000
5	延べ単語数	66361.000
6	単語種別数	14432.000

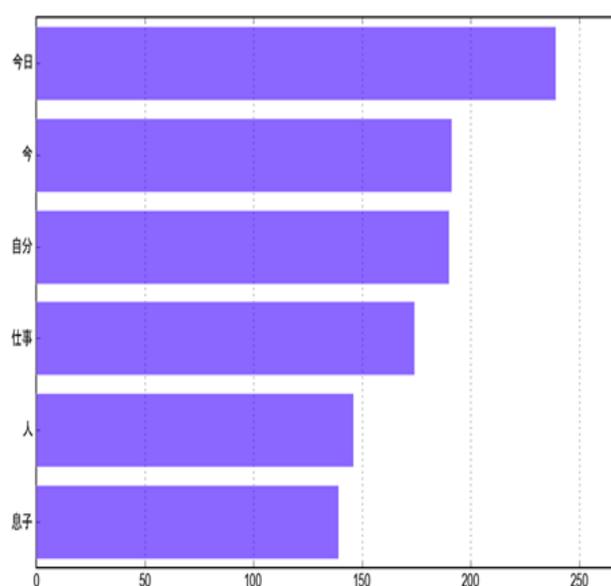


図1 単語頻度図

### 3. 「仕事」に焦点をあてた単語頻出度解析

図2は、単語頻出解析の結果をブログ別に分け、クロス集計で表したものである。「仕事」に焦点をあてた分析を行うため、名詞のみを抽出対象とし、頻出回数を50回以上と条件とし解析を行った。

結果は、「Sweet Happy Days」が最も多い頻出度を表していた。これは、子どもの人数が影響していると推測した。このブログ作者の香乃は、子どもの人数は2人で、他のブログ作者の子どもは1人であった。

従って、子どもの数が増えると、仕事の配分も多くなることが分かった。背景として、母子世帯の働き手は母ひとりであるため、子どもの数に比例して、仕事の量が増えることが考えられる。

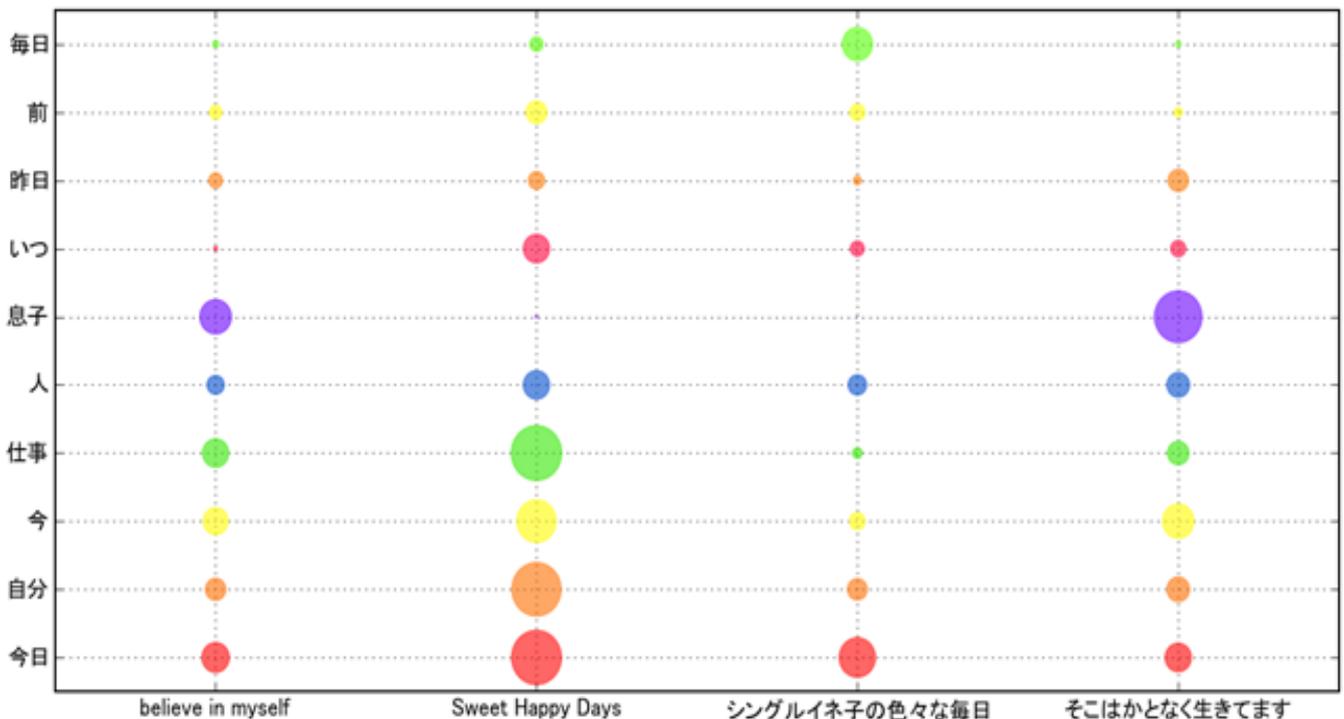


図2 ブログ別のクロス集計

#### 4. 「お金」に焦点をあてた係り受け頻度解析

図3は「お金」に焦点をあてた分析を行うため、係り受け単語を「お金」とした頻度解析を行い、上位20位を表している。「お金」ということば係り受けとして最も多く表されているのが「かかる」(4回)である。ブログ本文中では、お金がかかることに対する不安とともに語られていたことが分かった。また、4位にあげられる「かける+ない」という係り受けの表現があるように、4名のブログ中には節約に対する記事数も多かった。

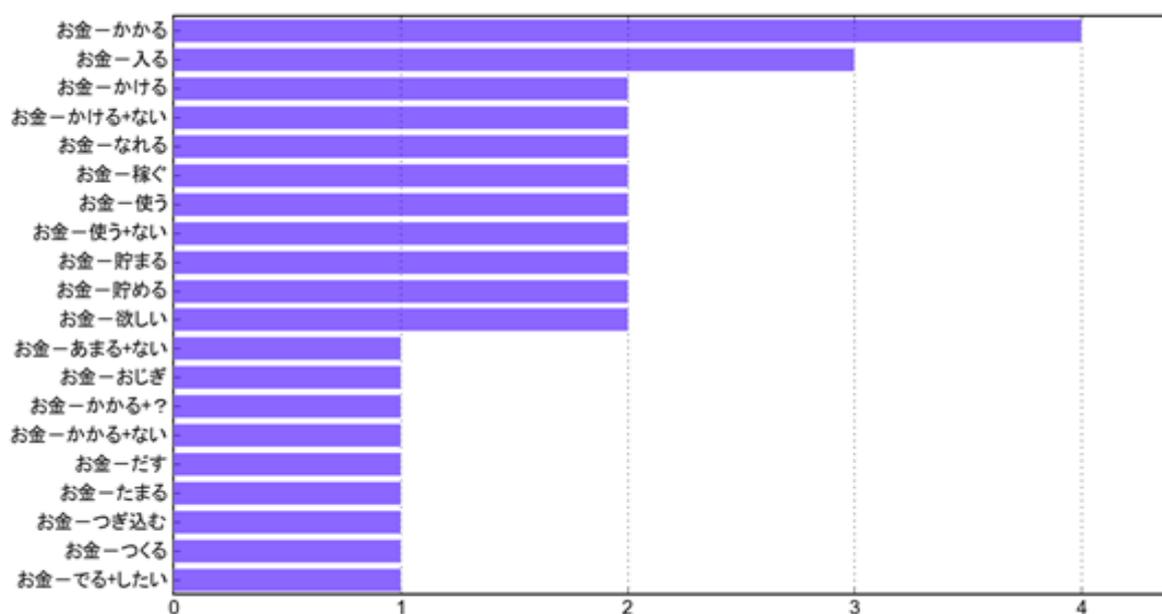


図3 「お金」に焦点をあてたシングルマザーのブログの単語係り受け

#### 5. 「お金」の注目語情報

図4は、ある単語と一緒に、同じ文や文書の中で使われる別のことばを表すために「注目語情報」を「お金」とし、抽出し分析を行った結果を表している。特に注目したいのが「貯まる+ない」や「生活+できない」という否定的なことばや「火の車」という逼迫したことばが「お金」と一緒に使用されていることが分かり、母子世帯の苦しい経済状況が明らかとなった。次に、注目したい言葉は「家庭環境」と「憂鬱」が共に使用されていることである。

例えばかなかなのブログ『そこはかとなく生きています』において、「お金」「憂鬱」「家庭環境」の3つのことばが使用されている記事では、「うちは(母子世帯であるという)家庭環境で、貧乏でお金もないから職場の人と話しづらい」という表現がされており、シングルマザーで低収入であるという事実が、家計のみならず、他の人間との関係性を作る上でのハンディキャップになっていることが分かった。



## 【まとめ】

### 1. 結果で明らかになったこと

本研究では、「お金」に着目した分析により、シングルマザーは仕事をしながらなお、経済的に不安を持っていることが分析により明らかになった。単語頻出解析では、シングルマザーの日常生活において「仕事」の配分の多さが表され、各ブログ別に見た単語頻出解析では、子どもの数に伴いその配分は増加していた。それにも関わらず、「お金」と共に使用されたことばは、「生活できない」など、逼迫した様子を表していた。

そして、家計のほとんどが、母親ひとりに負担がかかっていることが明らかとなった。「お金」の共起表現を分析し、共に使用されたことばは、住宅に関することから子どもに関わることが多かった。結婚している世帯であれば、通常、家計や教育費に関わることを2人で共有し合えるが、シングルマザーは1人で問題を抱えていると言える。

さらに、その不安が社会生活を送る上で、障害となっていることが明らかとなった。「お金」の注目語情報を分析したことで、低所得であることとシングルマザーという立場から、人間関係を育むことに対し消極的になっていることが分かった。

### 2. 先行研究との関係

本研究で明らかになったこれらの結果を先行研究と比較すると、阿部（2009）が指摘するシングルマザーの就労問題と共通していた。阿部は母子世帯に育つ子どもの貧困問題を研究しており、シングルマザーのほとんどが男性並みに働いている実態を明らかにした。本研究でも、「仕事」の配分の多さが明らかとなったことで、シングルマザーの就労時間の多さが推察できた。

そして、阿部は、働いても経済的に豊かになれない母子世帯の問題も指摘しており、この点においても、本研究の結果と共通していたと言える。本研究では、仕事の量は多いが、不安を表すことばが「お金」と共に使用されたことが分かり、働いても経済的に苦しいことが推察できた。

母子世帯に対して、「福祉に頼って生活している」という認識は、誤解であると阿部は指摘しているけれども、本研究において、シングルマザーが福祉に頼っているかどうかは証明できなかった。児童扶養手当や母子手当に関することばが、分析に使用できる十分な量がなかったためである。だが、「仕事」の頻度の多さから推測すると、福祉に頼っていない母子世帯の現状を示唆できたと言える。

### 3. 本研究の理論的意味

ブログという、自由に記述できるものであっても、シングルマザーは「お金」に不安を持っている事が推察されたことに、意味があると考えられる。インタビューとは異なり答えが

強制されないテキストでも、「お金」に関する不安を抽出し分析でき、阿部（2009）の指摘との共通点を挙げられたことは、先行研究の裏付けができたと言える。

#### 4. 本研究の実践的意味

本研究では、4名のシングルマザーによって書かれたブログを分析し、仕事と育児とを一手に担うシングルマザーの現状が示唆され、精神的にも大きな負担であることが分かった。この結果の背景には日本の母子世帯に対する支援が影響していると考えられる。阿部（2009）は、すでに働いているシングルマザーに「もっと働け」と要求する、日本の制度は母子世帯を追い詰めていると指摘する。

働くことを母親に要求すれば、母子世帯の子どもにとって親は不在になるため、子どもの成長の面でも、就労支援に重点を置いた現状の福祉制度は問題であると考えられる。従って、こうした母子世帯に対する福祉制度の拡充が求められる。そして、本研究が、母子世帯への偏見を払拭し、福祉政策の拡充に貢献できることを期待したい。

#### 5. 限界と課題

本研究は、「お金」と共に使用されることばの頻度や、使われる際の特徴を分析することができた。しかし、シングルマザー歴の長さによって、「お金」の使われ方がどう変化していくのか、お金の問題は時間と共に解決されるのか、という事実を検証することができなかった。ブログという自由記述の性質上、シングルマザー歴を指定できないことが、限界であると考えられる。

今後は、量的調査とブログ分析を合わせ、時間の経過に伴い母子家庭の経済問題は改善されるのか、という疑問を検証することを課題であると考えられる。

#### 謝辞

学生研究奨励賞応募の原稿作成にあたり、Text Mining Studio4.2を使用させて頂きました数理システム様に感謝いたします。また、本論文を作成するにあたり、指導教官のいとうたけひこ教授から丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。ここに感謝の意を表します。

## 参考資料

阿部彩 (2009) 「子どもの貧困-日本の不公平を考える」 岩波新書

阿部彩 (2009) 「母子家庭の貧困の実態と社会政策」 『日本教育社会学会大会発表要旨集録』 国立社会保障・人口問題研究所 409-410 頁

服部兼敏 (2010) 「テキストマイニングで広がる看護の世界」 ナカニシヤ出版

イネ子 2012 シングルイネ子の色々な毎日 <http://ameblo.jp/single-umeko87/> (2013 年 10 月 4 日取得)

石山直樹 (2007) 「母子世帯に対する経済的支援施策の意義について」 『横浜女子短期大学研究紀要』 22 : 35-44 頁

岩田正美 (2010) 「現代の貧困—ワーキングプア／ホームレス／生活保護—」 ちくま新書

かなかな 2011 そこはかたく生きています <http://ameblo.jp/taiyou0520> (2013 年 10 月 3 日取得)

香乃 2012 Sweet Happy Days <http://ameblo.jp/sweet-kanon/> (2013 年 10 月 3 日取得)

Rainbow pink 2013 Believe in my self～No Rain No Rainbow～

<http://ameblo.jp/believe-in-myself78/> (2013 年 10 月 3 日取得)

武内郁江 (2012) 「ひとり親家庭が養育費不履行を解決する方法-養育費制度に取り残された母子世帯」 和光大学現代人間学部 現代社会学科 卒業論文